

地域の会前回定例会以降の動き

令和5年3月1日

新潟県防災局原子力安全対策課

1 安全協定に基づく状況確認

2月10日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

○免震重要棟2階会議室（非管理区域）で発生したノートパソコンの火災について、調査状況の説明を受けるとともに、現場確認を行いました。

○6号機ドライウエル^{*}内での作業中に、誤って作業用照明（ハンディーライト）を落下させた不適合事象について、説明を受けるとともに現場確認を行いました。

※原子炉格納容器のうち、圧力容器など主要な設備が収納されている部分

2 新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会

2月1日、令和4年度第4回技術委員会を開催し、東京電力から柏崎刈羽原子力発電所の安全対策（水素爆発対策、耐震評価）、6号機大物搬入建屋杭の損傷について説明を受け議論しました。また、7号機循環水系配管の損傷、3号機高経年化技術評価書の記載誤りについても説明を受けました。

※ 会議資料は下記ホームページに掲載

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/genshiryoku/gijyututop.html>

3 原子力災害を想定した冬季訓練

2月8日、冬期の原子力災害時における対応力の向上を図るため、原子力防災訓練の個別訓練として冬季訓練を実施しました。

（1）本部運営訓練

<参加機関>

新潟県、柏崎市、刈羽村、内閣府、北陸地方整備局、東日本高速道路（株）、東京電力ホールディングス（株）、除雪事業者、バス事業者の職員 約60名（合計）

<訓練内容>

大雪により高速道路や国道の一部で予防的通行止めが実施されている中、長岡市を震源とする震度6強の地震に伴い原子力災害が発生した想定で、住民の避難実施に向け、県・市村の災害対策本部、各道路管理者、除雪事業者等が連携し、優先的に除雪すべき避難経路を決定するなどの初動対応の手順を確認

(2) 住民避難訓練

<参加機関>

柏崎市、刈羽村職員15名（合計）、PAZ内住民約30名

<訓練内容>

積雪期に原子力災害が発生。全面緊急事態に至り、PAZ内の住民に防災行政無線等により避難指示が出されたことを想定し、住民が一時集合場所に集合し、柏崎市、刈羽村職員が受付及び安定ヨウ素剤の配布等を実施した後、避難先へ避難するまでの手順を確認



本部運営訓練（避難経路の検討）



本部運営訓練（プラント状況の確認）



柏崎市避難訓練（夜間の誘導）



柏崎市避難訓練（停電想定の受付）



刈羽村避難訓練（バスによる避難）



刈羽村避難訓練（ヨウ素剤配布）